

グリーンイノベーション基金事業

「電動車等省エネ化のための車載コンピューティング・シミュレーション技術の開発」
プロジェクトに関する研究開発・社会実装計画（案）に対する意見公募手続の結果について

令和4年2月16日
経済産業省
製造業局
自動車課

「グリーンイノベーション基金事業「電動車等省エネ化のための車載コンピューティング・シミュレーション技術の開発」プロジェクトに関する研究開発・社会実装計画（案）」について、令和3年10月26日から同年11月26日まで意見公募手続を実施いたしました。

提出意見と提出意見を考慮した結果については以下のとおりです。なお、提出意見は整理又は要約しております。

1. 意見公募の実施方法
- 意見募集期間：令和3年10月26日（火）～令和3年11月26日（金）
 - 実施方法：電子政府の総合窓口（e-Gov）における掲載
 - 意見提出方法：e-Gov
2. 提出意見数
- 2件
3. 提出されたご意見の概要及びご意見に対する考え方
- 別紙のとおり。
- 御協力いただき、誠にありがとうございました。

ご意見の概要及びご意見に対する考え方

	提出意見	提出意見を考慮した結果
1	「地球の温暖化が進んでおり、その主因は Co2 である」というまやかし論に乗った施策ですので、やめるべきです。 本件の電動車省エネですが、そもそも電動車の「電気」は他所で発電したものを使っているわけですから、当然無駄も多いわけで、「排ガスのないクリーンな車両」というのも、川上から川下まで見れば、嘘です。 世界的な電動車推進は、日本の車産業潰しの一環でもありますから、このような技術開発は程々にしてください。	CO2 が温暖化をもたらしていることはないとのご主張が存在することは承知しておりますが、政府としては IPCC をはじめとする科学的調査の結果も踏まえ、人類の経済活動により大気中に排出された CO2 が地球の温暖化を招いている可能性が十分にあると認識しております。そのような認識に基づき、将来的な気候変動のリスクを抑える観点から、2050 年にカーボンニュートラルを実現するべく本プロジェクトを含めて必要な技術開発等に取り組んでまいります。 なお、自動車のライフサイクル全体での CO2 排出を削減するため、自動車の電動化の取組に加えて、再生可能エネルギーの導入拡大とコスト低減等を通じたエネルギーの脱炭素化を一体的に進めていきます。
2	温暖化の主な原因は Co2 っていうのは、科学的に証明されたのでしょうか？ 現在の科学に基づく天気予報では来週の天気も外すように、今の人類には、計り知れない様々な要因が絡み合っていると理解しております。 また、地球温暖化に大きく疑問符がつく専門家、学者の意見も散見します。EV 化はトヨタにどうしても勝てない EU が推し進めているものと理解しています。 EU はオリンピックで自分たちが勝てないと、競技のルールまで変えてくる人たちです。 日本を守り日本の産業を育てるためにお金を使ってください。 国民のお金を使って将来に備えるのに異論はないですが、それは科学的に証明され、説明を国民に周知させてからにしてください。	CO2 が温暖化をもたらしていることはないとのご主張が存在することは承知しておりますが、政府としては IPCC をはじめとする科学的調査の結果も踏まえ、人類の経済活動により大気中に排出された CO2 が地球の温暖化を招いている可能性が十分にあると認識しております。そのような認識に基づき、将来的な気候変動のリスクを抑える観点から、2050 年にカーボンニュートラルを実現するべく本プロジェクトを含めて必要な技術開発等に取り組んでまいります。 なお、ご指摘のように、カーボンニュートラルに向けた完全な解決策はないのが現状であり、このため、我が国としては、これまで培ってきた日本の強みを生かす形で、特定の技術に限定することなく、多様な選択肢を追求していくこととしています。 こうした方針の下、政府としては、電気自動車や燃料電池自動車、燃料の脱炭素化といったあらゆる技術のイノベーションを促進していくことを通じ、カーボンニュートラルの

		実現と我が国自動車産業の国際競争力の維持 に努めてまいります。
--	--	------------------------------------